

# 令和5年度 大杉小学校努力点推進計画

## 1 主題とサブテーマ

見つけよう！自分の学び

～自由進度学習を取り入れた授業を通して～

## 2 主題設定の理由

本校では、昨年度まで3年間に渡り、「なかまと共に進んで学ぼう」というテーマで努力点実践を行ってきた。子どもたちが自分の言葉でめあてを設定する授業の構想や、交流方法の工夫、振り返り方法の工夫などを通して、主体的に課題に取り組み、仲間と対話しながら課題を解決する児童の育成を目指した。3年間の取り組みを通して、「なかまと共に学ぶ」授業の形態は児童に浸透し、一定の結果を得た。

多様化が進む中、子どもたちには、将来にわたり、自分で学習を進めていくことができるような力の育成が必要である。そこで、今年度は子どもたちが自身の興味・関心や、学習のペース、習熟度に応じて学習計画を立て、自ら学習を進めていく「自由進度学習」を取り入れた授業を行う。

教師が課題や学習活動を選択できるような柔軟な授業を提供することによって、子どもたちは自分の学習の進め方を考えながら取り組み、「自分で選びながら取り組めたからよく分かった」という経験を積み重ねる。学ぶ楽しさや充実感・達成感を味わうことにより「自分なりの学び方」を見付けられるような子どもたちの姿の育成を目指す。

## 3 研究の内容

### (1) 自由進度学習とは

自由進度学習には三つの型（課題選択型、時間設定型、目標設定型）があり、子どもたちの興味・関心や、学習のペース、習熟度に応じて、自分に必要な課題や学習活動を選択して取り組むことができる学習である。今年度は、従来の一斉指導と自由進度学習の良さを生かしながら、子どもも教師も抵抗感なく取り組めることを重視して、学習内容の定着に効果的だと考えられる単元の一部に自由進度学習を取り入れた授業を行う。

### (2) 授業実践について

自由進度学習が効果的だと考えられる単元の一部で実践を行うことができるよう計画を立てる。前期・後期どちらかで1回、指導案（略案）を作成して、公開授業実践を行う。教科は特に限定しない。

指導案実践を行う日時は、授業日2週間前までに、推進委員長へ報告する。推進委員長は、その後教務主任、教頭、校長と相談し、日程調整をする。実践を行う際は、指導案（略案）を作成し、事前（授業日1週間前まで）と事後に、各部会での検討会を行う。指導案は、事前検討会の2日前までには配付するようにする。また、可能な限り教師同士が参観し合うようにする。

#### 4 年間計画

日にち	内容	備考
4月6日(木)	努力点推進委員会	本年度学校努力点の骨子の決定
4月13日(木)	努力点全体会	概要説明
9月14日(木)	努力点全体会・現職教育	前期実践報告会
1月25日(木)	努力点全体会	後期実践報告会
2月26日(月)	努力点推進委員会	次年度の計画
4月～9月初旬	前期授業実践	
10月～1月中旬	後期授業実践	

#### 5 研究推進の組織

